

ドーハ日本人学校への編入・入学をお待ちしております！

～学校教育目標～

日本人としての誇りをもち、豊かな感性と確かな学力
たくましい体をもった児童生徒の育成

めざす児童生徒像

- (1) 豊かな心を持つ子ども (2) 自ら学ぶ子ども (3) たくましい子ども

【本校教育のキーワード】

五感を活かした学び・小中連携一貫の教育・協働の学び・問題解決型の学び
生活の質的向上につながる学び・学習言語を大切にした学び

①本校はカタール日本人会が設置・運営している学校です。

本校は「ドーハ日本人学校規則」の第一条にあるように「カタール日本人会は、主に同国に滞在する日本国籍を有する子女に対し、同国の文化・国情等を理解し、国際社会で活躍する人材となるとともに、**帰国後ただちに日本の教育制度を継続して受けることができるように**、全日制日本人学校を設置する。」という文言を基本に学校教育目標や方針、カリキュラムを作成し運営しています。ほとんどの日本人学校はこのような主旨で設置されています。

②国内のカリキュラムにアラビア語・英語を特別に取り入れている学校です。

その上本校では、ここカタール国の文化や歴史等の学習や**アラビア語・英語**など外国語学習に関しても、**国内のカリキュラムの上に特別に取り入れ**実施しています。また、**インター校や現地の学校との交流も盛ん**に行い、現地理解教育にも力を入れています。

③母語を大切に授業の工夫をしている学校です。

さらに本校は、特に**母語を大切に**言語活動・言語教育の重要性を追求し、自力解決・ペア学習(解決)・グループ学習(解決)などによる協働の学びを取り入れ、正しい言語能力や表現力を身につけさせるための授業の工夫に力を注いでいます。

母語が急激に発達するのは2才から5才くらいと言われていています。また、**母語で学習ができる力が確立されるのが、9才から10才くらいまで**と言われていています。**思考能力や学習力、表現力を高めるには、土台となる日本語力をこの時期に高める必要があります。**土台となる言語がしっかりしていて、はじめて**第二の言語を獲得する力が発達**します。

④国内の授業と同じように「学習言語」を積極的に使っている学校です。

授業に使っている日本語は「**学習言語**」と言われ、日常会話に使われている日本語「**生活言語**」とは異なっています。本校の学習は日本国内で一番多く採用されている教科書を使った授業内容ですので、当然この「**学習言語**」を使った学習がなされています。「**学習言語**」が身につけていないと、様々な学習の場面で複雑な心情の理解などができずに**授業についていけなくなる**こともあります。もちろん「**生活言語**」が充実していないと「**学習言語**」に結びついていきません。

⑤真の国際人を育てることを目指している学校です。

異文化を素直に受け入れ認めるところから真の国際人は育っていくと言われていています。その前に**日本国の文化や歴史をしっかりと学び、日本人としての誇りや自信を持ってこそ真の国際人が育つもの**と思っています。もちろん英語教育は必要な教育ではありますが、**決して英語教育のみが国際人を育てるとは限りません。**

★将来お子さんが日本で生活して生きていくことを望まれるならば、母語である日本語を大切に、**豊かな感性と確かな学力、たくましい体をもった人間の育成を目指す**必要があります。